

## 2. 子どもたちの学ぶよろこびを育み、生きる力を養う

重点施策

### 今、求められていること

- 一人ひとりの子どもが基礎学力を習得するとともに、社会の一員として自らの責任を自覚して参加することができるよう、主体的に自他を生かすことができる力を身につける必要があります。
- 社会の変化に対応できる適応能力や創造力の基礎を培うために、子どもが主体的に学ぼうとする意欲を醸成することが必要であり、同時に、健やかな身体と心が育まれるような環境の整備が求められています。
- 多様化するいじめの問題やインターネット上の有害情報への早急な対応が求められています。

### 取り組みの方向

- 新学習指導要領に基づき、教育課程の充実を図るとともに、自学自習力の育成や少人数教育を推進するなど、子どもたちの基礎学力の習得を促します。
- 命の大切さや人を思いやる豊かな心と健やかな身体を育むとともに、課題解決に向けて、自ら学び自ら考え主体的に判断するなど、生きる力を育む教育活動を推進します。
- 子どもの社会への適応能力を高めるため、社会体験活動などを進めます。
- いじめや不登校の防止に向け、相談体制の強化などの対策を進めます。
- 保護者と連携しながら、携帯電話やインターネット上の有害情報への対策を進めます。

#### <主要な取り組み>

- 基礎学力向上プロジェクトの推進
- 読書活動の推進
- 道徳教育を中心とする心の教育の推進
- 不登校防止対策の強化
- いじめ専用ホットライン等による早期対応の充実